

子供の車内置き忘れを防止する仕掛け

日本大学商学部 久保山実咲

①背景・目的

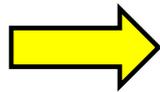
保護者が子供を保育園に送ったつもりが車内に置き忘れてしまうという事故を無くすための仕掛けを考えた。

②仕掛けの内容

車内のドアのレバー部分を隠すように板を貼り付け(図1)、上に上げてどかさなければドアを開けられない仕組みにした(図2)。降車時にこの動作を挟むことで、車に乗せた子供の存在を思い出すきっかけとなる。



【図1】

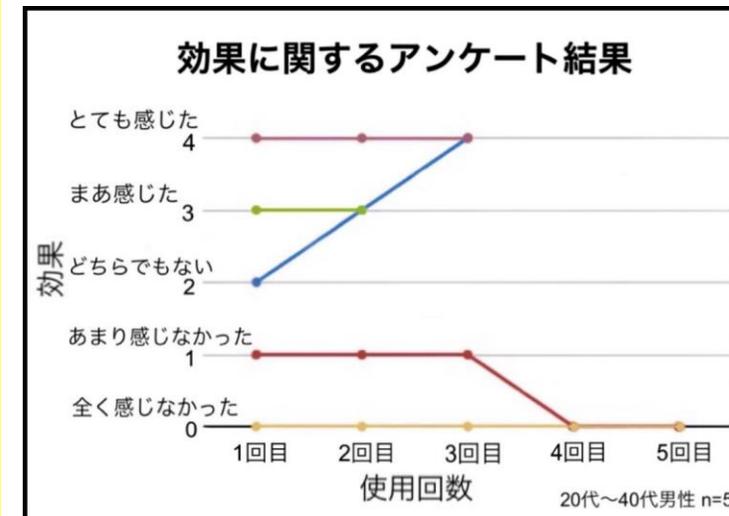


【図2】

③仕掛けの原理

これは**不便益**を利用した仕掛けである。不便益とは不便であることでもたらされる利益のことである。ドアを開ける度にあえて手間を掛けさせることで子供に気が付くきっかけが生まれ、後部座席を確認する習慣付けがされることでヒューマンエラーの防止に繋がる。

④検証と考察



実際に使用してもらった結果から、使用者の使用状況によって効果の感じ方は二極化することが分かった。条件が合致する場合には仕掛けは有効であることが示唆された。